

入場
無料

守るべき目の健康を

挨拶

藤岡多野医師会 会長 江原 洋一 先生
藤岡市 市長 新井 利明 様

講演

「ゆがんで見えたら要注意 加齢黄斑変性」

座長 田中眼科医院 院長 田中隆行 先生

演者 群馬大学医学部附属病院 眼科 講師

佐藤 拓 先生

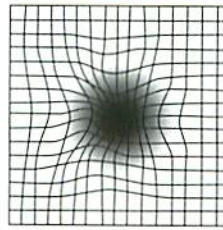
質問コーナー

講師の先生が、みなさまからの質問にお答えいたします。

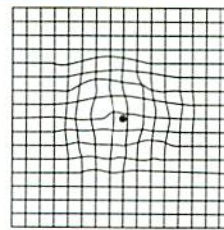
片眼で簡単にチェックできます

こんなふうに見えませんか

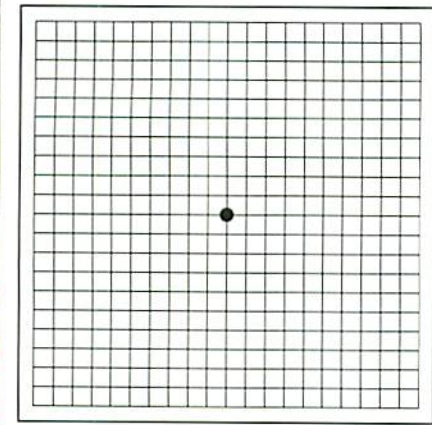
左の表を、
片眼をつぶって
中心の点
を見てください。



線がぼやけて薄暗い



中心がゆがむ



日時 平成22年 12月4日(土)

午後2時～4時 (午後1時30分開場)

会場 藤岡多野医師会館

〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡 1860-1

TEL : 0274-22-0251 FAX : 0274-24-4187

主催 藤岡多野医師会、ノバルティスファーマ株式会社

後援 藤岡市、神流町、上野村、公立藤岡総合病院、くすの木病院、鬼石病院、群馬県薬剤師会藤岡支部、藤岡多野歯科医師会

健康相談コーナーも設置します。気軽にお立ち寄りください。

問い合わせ先 藤岡多野医師会 TEL0274-22-0251



藤岡多野医師会市民公開講座

『眼の健康を守ろう』

プログラム

14:00 開演 挨拶 藤岡多野医師会 会長 江原 洋一先生

藤岡市 市長 新井 利明様

14:20 講演

『ゆがんで見えたら要注意 加齢黄斑変性』

座長 田中眼科医院 院長 田中 隆行 先生

演者 群馬大学医学部附属病院 眼科 講師 佐藤 拓 先生

15:20 休憩

15:30 質問コーナー

16:00 閉会

佐藤 拓 (さとう たく) 先生

御略歴

- 1996年 群馬大学 医学部 卒業
- 1996年 群馬大学眼科 研修医
- 1997年 公立富岡総合病院 医師
- 1998年 群馬大学眼科 医員
- 2000年 群馬大学眼科 助手 (現 助教)
- 2008年 群馬大学眼科 講師 現在に至る

藤岡多野医師会市民講座

「眼の健康を守ろう」

「ゆがんで見えたら要注意 加齢黄斑変性」

抄録

みなさんは「加齢黄斑変性」という病気を御存知ですか？

アメリカやヨーロッパでは以前から失明原因の第一位の病気で、実は近年、日本ですごく増えてきている病気なのです。

群馬大学の眼科では毎週多くの「加齢黄斑変性」の患者さんが受診しています。眼の奥にある、神経で出来ている網膜の中心に出血やむくみが生じて、ゆがみ（変視）や見たいところが暗くなる（中心暗点）や視力低下が生じるこわい病気でした。

しかしここ数年で新しい治療法が出てきて、多くの患者さんの視力を守れるようになってきています。良い視力を守るためのキーワードは「早期発見、早期治療」です。

今回の講演では、「加齢黄斑変性」の病気について、症状や検査、最近の治療法や予防についてお話させていただきます。

一緒に勉強しましょう！

ご挨拶 ——— 第 14 回 市民公開講座 ——— (H22.12.4)

師走の声を聞きなにかと気ぜわしい中を、わざわざ当医師会主催の市民公開健康講座に大勢の方にお集まり戴き、いつもながら厚く御礼申し上げます。

最近のニュースは、本当にわが日本の将来はどうなってしまうのかと心配されるような事ばかりが続いております。沖縄の基地問題に発し、尖閣列島、北方領土、北朝鮮と外交問題もさることながら、財政赤字、医療政策や学校教育など国家としてまさに存亡の危機を迎えているように思えます。

そのような時にあっても、当医師会は市民の皆様様の健康保持はもとよりその増進、疾病予防等保健福祉の事業全般にわたり、片時も休むことなく気を配り、各種医療事業の円滑な実施に対して、苦勞をいとうことなく行政に協力しております。医師会員の地域医療に果す役割はますます重要になっており、その範囲は年々充実拡大し、インフルエンザなど流行性疾患、癌対策、メンタルヘルス、学校保健、小児救急等など枚挙に遑がありません。さらに、介護保険も加わり、その上に昨年からは特定健診・特定保健指導事業なども始まり、これらの対応に忙しいさなかを懸命に努力しております。

この市民健康公開講座もおかげさまで、14 回目を数えることになりました。今回は眼の健康を守ろうと題し「ゆがんで見えたら要注意—加齢黄斑変性」につき、田中眼科医院の田中隆行先生を座長に、この比較的新しく確立された病気の、日本での第一人者である群馬大学講師佐藤拓先生をお招きすることができました。まだ分らない所が色々あるようですが、今日はその症状や診断、更には対応の仕方などにつき分り易く解説していただける筈です。とにかく視力低下、変視や中心暗点を自覚したら直ぐに眼科受診をお勧めします。早期ではレーザー光凝固でドルーゼン消失が報告されております。進行は緩徐だが萎縮型加齢黄斑変性では進行を食い止める確かな方法は未だ難しそうですが、滲出型へ移行すると対側眼も侵される可能性が高いようです。いずれにしてもこれからの進歩が期待されます。

今後とも医師会は会員一同切磋琢磨し、自己研鑽を積み、地域の人々に安全で良質な医療を提供できるよう、最新の知識・技術を習得し、医道の振興に努めていく覚悟でおります。医学を修めた専門家集団として、限られた社会的資本を最大限に生かしつつ、命と健康を、豊かな郷土作りのために、その社会的使命を果して行きたいと考えておりますので宜しくご支援ご協力をお願いします。